

小笠原村教育委員会教育長
松本 隆 様

小笠原村立小笠原中学校校長
新妻 茂 公印

平成27年度 小笠原村立小笠原中学校 評価報告書

標記の件について、下記のとおり報告します。

記

1 本校の教育目標

[教育目標] ○よく学び、考え、行動する人
○やさしくたくましい人
○社会の一員として貢献できる人

[学校経営方針における教育活動の目標]

- 最重要課題 『学力向上』
- ・breakthrough(難関や壁の突破、行き詰まりからの進展)
 - ・学ぶ意欲の喚起
 - ・学習習慣の確立
 - ・自分の学びに自信を

2 学校関係者評価の概要

【保護者】(保護者アンケート参照)

【実施状況】

- H27・12月に実施 ※回収44名回収率86.3% (昨年度は35名71.4%)
○20項目で実施 経年比較ができるよう、アンケート内容は例年同じ
○方 法 生徒を通じて配布し、封筒を使用して回収
○その他 学校だより1月号に一部掲載。3月保護者会および学校HPでは全面開示。

【概要】

○肯定 90%以上 1項目
80%以上 8項目
80%未満 13項目

肯定が著しく低下している項目

- ・-28% 基礎・基本の定着に努めている
- ・-27% 教育活動全般に熱心に取り組んでいる
- ・-27% 生徒の道徳性が高まっている
- ・-24% 教員は指導方法や教材研究等、授業改善に取り組んでいる。

○肯定意見が上昇している項目 0項目
変わらない 項目 0項目
下降した 項目 21項目

【分析】

- (1)今年度は全ての項目に於いて肯定意見が下降した。著しいのは次の4項目である。去年より更に28%の保護者がこれらの成果を認めていないことになる。
- 設問 6 学習指導全般において、基礎・基本の定着に努めている。-28%
- 設問 4 教員は教科指導や生活指導等、教育活動全般に熱心に取り組んでいる。-27%
- 設問12 全教員で道徳授業に取り組むことで、生徒の道徳性が高まっている。-27%
- 設問 5 教員は、生徒が授業内容を理解できるよう、指導方法や教材研究等、授業改善に取り組んでいる。-24%

			今年度は企業訪問を実施した。生徒にとって自分の将来を考える契機となった。
取組②	学習習慣の確立 個々の学習習慣を確立するために進路学習部を中心に組織的に取り組む。進路学習だよりの定期的な発行により啓発を図る。	○生徒各自の学習関係の資料を一つにまとめ、自分で振り返りや面談等の充実を図る。 ○考査前を中心とした学習会(補充教室)の実施 ○進路通信の定期的な発行を中心とした本人及び保護者への意識啓発 ○朝一番で課題を提出させるなどの家庭学習の習慣化を図る取組 ○考査前、朝テストの実施	考査等の一時的な頑張りは見られるが、継続的な学習習慣の確立には至っていない。 また、方策に乗って生徒はそれなりに動いてはいるが、まだ「やらされている」感がある。キャリア教育等と併せ、内発的な取組に昇華させる必要がある。 同時に、保護者の学習に対する意識を向上させる必要がある。
取組③	人権教育の推進 生徒の人格を尊重する趣旨から呼び捨てにせず敬称を付けて呼ぶとともに教員・生徒の言語環境を整えていく。併せて校訓の趣旨を徹底する。	○生徒を敬称をつけて呼ぶなど、平素の教員・生徒の言語環境を見直す。 ○いじめ、体罰等の今日的教育課題に積極的に取り組むために、 ・ふれあい月間などを機会としアンケート調査の実施 ・教員の資質向上を図るための研修会の充実 ・生活指導部を中心とした組織的な対応	ほぼ、予定通りの取組ができたが、集団生活を送っている学校という場においては、生活指導上の諸問題は、常に起こりうるものとして終わりはしない。今後も組織力および教員個々の資質向上を図りながら、未然防止の姿勢で取り組んでいく。 また、人権教育に関しては、集団生活を向上させる基盤と考え、道徳と併せ、より具体的に、意図を持って、進めていく必要がある。
取組④	主幹教諭を活用したOJT体制の確立と充実 ※教員の指導力向上とキャリアアップに向けて若手教員育成が急務である。危機感をもって取り組む。	○主任教諭がいない状況の中、若手教員育成研修体制を整え若手教員育成を図るが、若手教員だけでなく、主幹教諭を中心にOJTを組織し、全ての文書を主幹教諭に提出させ、checkする指導体制を取った。 ○全教員が年2回以上の研究授業の実施 ○内地での夏季研修等への積極的な参加 ○専門性向上研修の積極的な参加	ほぼ、予定通りの取組ができたが、教員の資質向上は、次年度も実態に合ったOJTを構築し、危機感を持って行っていく必要がある。
取組⑤	開かれた学校 ※保護者に学校へ足を運んでもらえるようにする ↓ 保護者の理解と協力を得られる学校づくり	○学校だよりや学年通信、学校HP等による適切な情報発信 ○学校行事(連合運動会・学習発表会・3年生を送る会等)の充実 ○学校公開週間や保護者面談、保護者会の改善と充実(時期設定や内容・資料等)	全ての行事に於いて多くの保護者に参観して頂いた。 いただける意見・感想、励ましも含め好意的・建設的なものもある。 現状を改善し、保護者や地域の方に信頼される学校づくりを進めていく。

※上記のことを踏まえて、次年度の学校経営方針及び教育課程を作成する。